

平成28年1月

要 望 書

仙 台 商 工 会 議 所
会 頭 鎌 田 宏

東日本大震災から5年を迎えようとするなか、仙台市の震災復興計画期間が今年度をもって終了するなど、震災復興は新たなステージへと向かっております。しかしながら、東北各地の沿岸部被災地においては、まだまだ課題が山積しており、東北全体の復興を推進するには、仙台を中心とした東北全体の地域力底上げが求められております。

また、全国的に人口減少による地域の疲弊が叫ばれるなか、仙台都市圏の人口は、当面、増加傾向にあるものの、企業においては深刻な労働力不足等が企業活動の足かせとなっております。さらに今後は、復興需要の減少や労働力不足による企業倒産の増加なども危惧されております。加えて、震災以降伸び悩むインバウンドをはじめとした国内外の交流人口拡大への対応が喫緊の課題となっており、仙台を牽引役に東北が一体となった広域的な地域間連携が望まれております。

つきましては、新たなステージを迎えた「震災復興」と「地方創生」という2つの課題に対峙し、仙台が宮城・東北のリーダーとして地域固有の特色を活かしながら創造的かつ持続的に成長していくため、その礎となる商工業とりわけ中小企業の活性化に向け、次に掲げる事項について特段のご高配を賜りたく要望申し上げます。

I. 企業活力の強化に向けて

仙台市が掲げる政令指定都市における新規開業率日本一をはじめ、累積新規雇用10万人など仙台の持続的成長のための目標達成および仙台市中小企業活性化条例による成果拡大に向け、特に下記に掲げる事項について、当所との連携強化ならびに特段のご支援を賜りたい。

1. 復興支援とビジネスチャンスの創出

- (1) 地元サプライヤーおよび販路開拓を支える人材の育成支援
- (2) 首都圏、関西圏への販路開拓支援
- (3) 「東北復興水産加工品展示商談会」への支援
- (4) 海外への販路開拓支援（ライジングトウホクフードフェアなど）
- (5) 海外における東北の水産物輸入規制等解除に関する働きかけ

2. 地域中小企業の経営力強化の推進

(1) マル経融資の利子補給継続

現在、平成28年3月31日までの融資実行分までとされているマル経融資震災対応特枠の利子補給に関する継続

(2) 「仙台市中小企業活性化基金」の積極的活用

(3) 平成29年4月に予定されている消費税率引き上げ、TPP等への対応強化に関する支援

3. 創業支援の強化

(1) 「日本一起業しやすいまち」をより確かにするための経済・社会環境形成の促進

(起業教育、域外からの起業人材の呼び込み、金融支援、税制優遇、民間投資促進特区を活用した支援強化等)

4. 雇用の創出

(1) 学生と地元企業を結び付ける採用活動支援等による若年層の定着

(2) 首都圏などからのU I Jターンの促進

(3) 大学等をはじめとする産学官の連携推進による新たな産業・雇用創出

II. 地域力の強化に向けて

人口減少社会が加速化する中で、仙台市は地方創生に向け、より一層の拠点性を高め、東北における人・モノ・カネの首都圏流出を防ぐ防波堤の役割とともに、東北全体の地域力の底上げを牽引していくことが求められている。ついては、下記事項において当所との連携強化ならびに特段のご支援を賜りたい。

1. 世界に開かれた仙台の都市力向上

(1) 「グローバル MICE 強化都市」指定を活かした国際会議等の誘致

(2) 災害時に強い世界に誇れる防災環境都市「仙台」の構築

- (3) 仙台空港民営化による東北のゲートウェイ（ヒト・モノ）としての機能向上・仙台塩釜港の機能拡充・仙台貨物ターミナルの移転による総合物流機能の強化
- (4) 外国人居住者も生活しやすい教育等居住環境の整備

2. 東北のインバウンド拡大のための戦略的取り組み

- (1) 仙台をはじめ東北が一体となった魅力あふれるコンテンツ、周遊ルート整備への協力
- (2) 海外に対するターゲットを絞った情報発信
- (3) 免税店および一括カウンター窓口の設置・拡充
- (4) イン・アウト2WAYの観点により経済、文化、教育、スポーツ、芸術などあらゆる面における国際交流の活性化の推進
- (5) 通訳案内士をはじめとするインバウンドに対応できる人材育成
- (6) 標識の多言語化、無料Wi-Fi整備の推進

3. 東北地域全体の発信力強化

- (1) 国際会議や大型コンベンションなど、あらゆる機会を捉えた仙台・宮城・東北の魅力発信
- (2) 東北六魂祭や仙台七夕まつりなど各地の祭りによる東北全体の情報発信
- (3) 東日本大震災の継続的な風評払拭・風化防止と震災経験の発信

4. 文化・観光力の強化・促進と広域観光の推進

- (1) 仙台が誇る年間を通じたまつり・催事・イベントのさらなる活用
- (2) 仙台城復元、青葉山公園・コンベンション施設の整備など観光発信拠点としての青葉山・川内周辺の一体整備
- (3) 杜の都のシンボルである広瀬川や西公園などと連動した、面による中心市街地の回遊性創出
- (4) 仙台に息づく伊達400年の伝統・文化の活用とブランド化に向けた機運醸成
- (5) 仙台ゆかりの歴史や文化人等のコンテンツ活用

- (6) 東北・北海道新幹線を活かした、宮城・東北・北海道および首都圏を一つに捉えた広域観光の推進
- (7) プロスポーツや、音楽ホールの建設支援をはじめとした芸術・音楽・文化等による地域活性化の推進
- (8) 2020 東京オリンピック・パラリンピック開催機会をとらえた国内外との交流促進、キャンプの誘致

5. 東北の顔、賑わいの中心としての商店街振興

- (1) 利便性が高まった地下鉄南北線や東西線をはじめとした骨格交通軸やバス路線などを活用した、魅力あふれるまちづくりの推進
- (2) 東北の顔である仙台中心部商店街が連携して行うエリアマネジメントの支援
- (3) 商店街や地域と大学・学生が交流連携する「学都まちづくり」の推進
- (4) 市立病院跡地への教育・研究および学生・商店街・地域との交流拠点の整備
- (5) 仙台初売りをはじめとした伝統的商習慣の継承・発展、集客力向上への支援
- (6) 中心部・周辺部商店街で実施する地域活性化事業への支援
- (7) 商店街を中心とする多様性ある地域・市民コミュニティ形成の推進

6. 東北の広域連携強化に向けた組織の設置

- (1) 仙台市が東北のリーダーとして、広域連携によって、東北全体の地域力向上を推進するための組織の設置

Ⅲ. 組織力の強化に向けて

仙台商工会議所の“組織力”の強化は、“企業活力”、“地域力”を高めるための土台づくりであり、地域総合経済団体として中小企業の活性化を推進し、地域やまちの賑わい創生を支援していくため、礎となる会員拡大をはじめとした組織・財政基盤の強化が重要である。については、下記事項において当所への特段のご支援を賜りたい。

1. 商工業者の商店街および商工会議所など商工団体への加入促進の推奨

大型店や中央資本のチェーン店等は、商店街や商工団体に加入しない傾向にあり、商店街等組織の衰退や、コミュニティの崩壊を招き、今後、急速に進展する少子高齢化社会に対応した「まちづくり」を推進していくうえでも、重大な課題となることが懸念されている。地域経済の活力の源である商店街は、単に物を売り買いする場の提供だけではなく、地域の歴史や伝統、文化を育み、次の世代へと継承するとともに、環境、防犯・防災、災害時における市民の安心・安全確保など、地域住民の「暮らし」を支える拠点としての機能を有している。については、商工業者に対し、商店街や商工団体などの社会的意義を理解し、企業としての地域貢献や企業責任の意味からも、地域振興の中心的役割を担う商店街および商工会議所・商工会への加入促進の推奨を強く要望するとともに、下記事項において当所への特段のご支援を賜りたい。

- (1) 商店街等への未加入事業所に対する、加入および地域との協調に関する勧奨
- (2) 仙台市における各種入札等参加に際する、商工団体への加入の条件化
- (3) プレミアム商品券事業など商工業者が関わる地域活性化事業等の開催に際して、商工団体会員は登録手数料を無料とするなど、加入につながる企画運営

2. 複数年度にわたって活用できる補助金の整備

当所が実行する販路開拓事業やインバウンド対策をはじめとする観光事業、ものづくり支援事業をはじめとする企業活力、地域力を高める各種事業への補助金については、複数年にわたる継続的な支援が必要となることから、複数年度にわたって活用できる補助金の整備を強く要望する。